

(別紙 11)

新潟県におけるジビエ利用拡大を考慮した狩猟者の育成に係る評価報告

1 狩猟者の現状や課題等

今後、ベテランの狩猟者が減少する一方で、新規の狩猟者が増えていくと考えられるため、捕獲したニホンジカ及びイノシシを食用として利用するための衛生管理等を含めた、狩猟者に必要な知識・技能を学び、ジビエ利用拡大を考慮した狩猟者の育成を図る必要がある。

2 1の課題等に対応するため、本事業で実施した取組内容

実施時期	令和8年3月15日
場所	食肉加工処理施設等
目的	捕獲したニホンジカ及びイノシシを食用として利用するための衛生管理等を含めた、狩猟者に必要な知識・技能を習得した人材育成
対象者・講師 (人数も記載)	【対象者】 (31名) ・ 狩猟免許を有している者 ・ 新たに野生鳥獣食肉処理施設をつくりたい者 【講師】 一般社団法人新潟県猟友会 (認定鳥獣捕獲等事業者) 鳥獣肉解体処理場事業者
内容	・ 狩猟者に必要な野生鳥獣の食用販売にかかる知識や個体を使用した剥皮、解体、部位の選択技術について ・ ジビエ利用の捕獲方法、衛生管理、適切な処理方法について ・ 野生鳥獣食肉処理施設の見学
方法	認定鳥獣捕獲等事業者に委託して開催
評価方法	講習会後のアンケートにより、講習内容にかかる理解度を調査する。
事業費	1,999,800円
備考	

注1：項目に沿って、実施した研修会等の具体的内容を記入すること。なお、「目的」には育成したい人材像も記入し、「評価方法」には本事業の目的や育成したい人材像に対する事業内容の適切性や事業効果の検証・測定方法等を記入すること。

注2：事業終了後の評価結果では、各項目について、実施した結果を記入すること。

3 2の取組に対する評価と今後の課題等（事業終了後の評価結果時のみ記入）

参加者31名のうち、10名が免許取得から3年を経過していない者であった。また、31名が「すべて理解できた」又は「やや理解できた」と回答したことから新規狩猟者の育成や、普段自ら解体等をしている狩猟者からも「大変勉強になった」と回答いただくなどジビエ利用の拡大にも寄与した。

注：1の課題及び2の各記載内容等も踏まえ、取組が適切に実施されたか、事業目的に対して効果があったか等の評価を具体的に記入すること。

また、評価を通じ明らかになった取組目的・内容の改善点や今後の狩猟者育成の課題等についても記入すること。

4 その他

注：特記すべき事項があれば記入すること。